

令和2年度 小川幼稚園
教職員自己点検・自己評価結果報告書

小川幼稚園長 浅沼成之

令和2年度小川幼稚園教職員自己点検・自己評価結果報告書

本年度も学期毎に教員の自己点検・自己評価を実施し、第一学期と第二学期の自己評価を基に教員自己点検・自己評価について評価を取り纏めた。評価点検項目は、昨年同様の点検項目とした。前年度までの反省点や学校関係者評価委員会からの指摘や意見を職員間で共有し、今年度の教育計画に反映させた。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、4月から約2か月間休園の措置をとることになった。今までに経験したことがない対応を迫られ、どのようにして子どもたちの安全を確保するか、いつから保育の提供ができるか等不安な要素が山積みとなり、問題の解決に向けて職員間で協議を重ねてきた。在宅中の園児が退屈をしないように、各学年で絵本の読み聞かせや運動遊び等の動画配信を行った。また、やむを得ず就労する保護者のために、預かり保育を継続して実施した。休園措置が解除された後も、感染対策への対応に迫られ、通常期と同じ教育活動の提供が出来なかった。特に屋内での活動は、密を避けることが求められるため、規模の縮小や中止を余儀なくされた。しかしながら、園児達は、園生活を十分に楽しんでいる様子であった。今後も新型コロナウイルスへの対応が必須となるため、感染対策を講じながらなるべく通常期に近い教育活動を提供していきたい。

令和2年度は、1名の教諭を新規採用した。公立幼稚園に一年間経験してからの転職。公私の違いがある中で、一日も早く登園の流れを吸収できるよう努力する姿が見られた。職員の資質向上に向けた取組みは、昨年度の反省を踏まえ、園内研修を研修リーダーが中心となり、研修会を数回開催することができた。全員が共通理解をすることで、今後の保育へ活かすことが出来た。

幼児教育の無償化により、新制度へ多額の公費が投入され、益々私立幼稚園への期待が増し、特色を活かした保育提供が求められる中、幼児教育と子育てセンターの中核を担う施設として利用者からの要望に応じていくために、職員一人一人が自覚をもち責任ある行動が求められるため、園内研修や職員会議等で周知徹底に努めた。

教員13名の自己評価・自己点検を第一学期、第二学期の2回実施し、下記のとおり結果を取り纏めた。

令和3年2月

小川幼稚園長 浅沼成之

○ 令和2年度の自己点検・自己評価を学期末毎に実施し、下記のとおり纏めた。

- ・実施時期 学期終了後毎に実施（年3回）
 ※ 自己点検・自己評価報告書に反映する評価は、一学期分と二学期分の評価とする。
- ・評価の点数 評価を a～d の4段階に分ける
 （a 達成 b ほぼ達成 c 一部検討を要する d 要改善）
 a…3点 b…2点 c…1点 d…0点
- ・評価の方法 25点以上…A評価 20点～24点…B評価
 15点～19点…C評価 15点以下 …D評価
- ・対象職員数 13名

○教育課程の編成と実施に関する評価

項 目	点 検 内 容	a	b	c	d	点数	評価
教育目標	目標は園や地域の特色を生かしているか	3	7	3		26	A
	目標は前年度の反省を生かしているか	1	9	1	2	22	B
	目標は教職員全員で共通理解をしているか	2	8	1	2	25	A
指 導	指導計画が幼児の実態にそくしているか	2	10	1		27	A
	教材・教具を適切に活用しているか	3	8	2		27	A
	評価結果を基に指導の改善に努めているか	1	7	4	1	21	B
教育計画	行事の種類や実施回数は適切か	1	6	6		21	B
	ねらいを計画や実施に生かしているか	3	5	4	1	23	B
	自主的・実践的な活動に配慮しているか	1	6	4	2	19	C

○教育課程の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項 目	点 検 内 容	a	b	c	d	点数	評価
情 報	個人情報適切に管理されているか	4	8	1		29	A
	公文書收受、発送、処理は適切に行われているか	3	9	1		28	A
	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理されているか	6	6	1		31	A
施設・設備	園舎園地の設備・備品の安全点検を計画的に行っているか	1	11	1		26	A
	遊具・用具・教具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	2	9	2		26	A
	不審者対応等の対策は万全であるか	3	6	4		25	A

保幼小連携 保幼連携等	他校種との年間交流計画は保育目標に沿っているか		4	7	2	15	C
	指導者同士が交流や合同研修の場を設け、互いの教育に対する理解を深めているか	2	6	3	2	21	B
	日常的に情報の交換が行われているか	1	3	8		17	C
分掌・運営	職員の配置は、適材・適所であるか 係や仕事の分担・割り当ては適切か	/					
	各種会議を適切かつ効率的に進めているか	1	7	4	1	21	B
	打合せ回数・時間・内容は適切か	2	6	4	1	22	B
クラス経営	学年・学級目標は、幼児の実態に即しているか	3	8	2		27	A
	学年・学級目標のねらいは適切か	4	7	2		28	A
	評価、資料を集積しているか	3	9	1		28	A
保健・安全指導	避難訓練、交通安全指導は、計画に基づいて適切に実施しているか	5	8			31	A
	健康や安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭へ啓発を行っているか	3	6	4		25	A
	安全確保のため関係機関との連携はとれているか	2	10	1		27	A
研究・研修	研究主題は、保育・教育目標の具現化につながるものか	2	5	5	1	21	B
	園内研修の計画、運営は適切か	2	8	1		23	B
	各種研修会への参加体制の充実を図っているか	1	3	9		18	C
	研修会で得た内容は、園内に還元しているか	3	7	3		26	A
子育て支援	地域の子育てセンターとして、園庭等を開放しているか	9	4			35	A
	地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を実施しているか	4	8	1		29	A
	教職員による子育て相談は充実しているか		5	5	3	15	C
情報の発信	学年だよりやホームページを活用し、園の情報を発信しているか	7	6			33	A

● 自己評価を終えて職員からの意見

【教育目標】

- ・各学年の目標は、園全体で共有できる仕組みになってきた。帰の反省では、目標の達成度について、活発な意見交換が必要だ。

【指導・教育計画】

- ・計画を立案しても、保育の中で工夫が足りていない場合や反省が多い。
- ・幼児期に育てたい10の姿に関する研修が足りないと感じている。

【情報・施設設備】

- ・教材の在庫確認、点検が上手く機能していない。遊具点検と同じく毎月点検担当を決めて行うように改善してほしい。

【保幼小連携】

- ・今年度はコロナウイルスの影響で、外部施設との交流ができなかった。リモート等を活用した交流も検討したほうがよい。

【分掌・運営】

- ・引き続き会議の進行について改善を図るべきだと思う。
- ・預かり保育の利用者が急増する中、安全な環境を維持できるように努めてほしい。

【クラス経営・研究研修】

- ・コロナウイルスの影響で、予定をしていた保育が行えず苦労した。
- ・園内研修は、研修担当を中心に行うことが出来たと思う。職員一人ひとりに学びたい内容を挙げてもらおうと良いのではないかな。

【保健・安全指導 情報発信】

- ・新型コロナウイルスへの対応に苦慮した。マスクの着用徹底は、年少児には負担が大きかった。
- ・保護者からの要望が多いため、対処に悩むことが多かった。
- ・ホームページの更新が遅すぎると感じた。

【子育て支援】

- ・休園措置中の預かり保育は、コロナウイルスへの恐怖が大きく負担になった。
- ・園庭開放日が行えなかったのは残念だった。
- ・県私幼伊藤カウンセラーの巡回回数を増やしてもらいたい。

○自己評価・自己点検を終えて令和2年度への課題と据えた重点事項

令和2年度は、13名の教員がそれぞれ学期毎に自己点検、自己評価を実施した。自己点検・自己評価の結果を取り纏め、下記の通り次年度への課題と据えた。今後各課題について、教職員間で改善にむけた計画案を立て取り組みを進める。

- ・次年度も引き続き、新型コロナウイルスへの対応を踏まえた保育となるが、可能な限り通常期に近い教育計画を立て、受け入れをするように心掛ける。
- ・年間計画の中で職員研修日を定め、全教員のスキルアップに繋がる内容の研修を計画していく。
- ・家庭との連携を密に取り、一人ひとりの子の特性や発達状況に合わせた保育を実践する。
- ・無償化により、新年度も幼稚園入園希望者と預かり保育利用者の増加が予想される。安全を担保した保育が提供できるように管理、運営を心掛けていく。
- ・在園児および未就園児保護者の子育てについて、広く相談できる場所を提供することにより、地域の子育て支援センターの一役を担えるようにしていきたい。
- ・県幼稚園振興協会派遣のカウンセラーおよび子ども相談センターの巡回相談等を通じて、一人ひとりにあった支援を行う。

以 上